

かなん タウンミーティング 2012
第2部 意見交換会 議事録(要旨)

大宝地域

第2部 意見交換会 (○住民の発言 ●行政の発言)

- ・大宝の開発から40年以上が経過。5年後には高齢化率40%を超える。今後、運転の出来ない高齢者も増加し、買い物・通院など日常生活の足の確保が必要。大宝地区における足の確保についての考えをお示しいただきたい。
- ・空き屋が増加し、防犯上も問題。美しい河南町条例に基づき徹底した対策をお願いしたい。
- ・若い世代を大宝に呼び込む施策についてお聞きしたい。
- ・住民が参画し、大宝地区の高齢化を考える話合いの場の設置は考えられないか。また、地域福祉計画等への住民の意見の反映は。
- ・大宝における雨水対策について。また、大宝には土砂災害警戒区域が多く、住民の不安を取り除く取り組みをお願いしたい。
- ・やまなみの風呂廃止の議決は承知しているが、調査費用計上の調査結果について、また多くの要望があることへのご意見について。
- ・その他意見書の項目につき、議論の場を設けていただきたい。
- ・さくら坂では、住民主体の会で運行計画をつくり自主的にバスの運行をされた。大宝でも是非このような会を作り、研究をいただきたい。ご検討いただけるということであれば、さくら坂と同様に、予算をお付けしたい。
- ・空き家対策については、地権者もおられるため、思い通りにはならないが、今後とも努力していきたい。
- ・若い世代の引き込みについては、現在の住環境への影響も考えられるので、地域でも議論を深めていただいて、一緒に考えさせていただければと思う。当然、子育て・教育環境の充実を進めていく。
- ・話し合いの場については、住民ニーズの多様化により、行政だけでは手が行き届かず、住民協働が大事になっている。地元で議論いただき具体的にご提案いただければ、町も積極的に取り組んでいきたい。
- ・土砂災害の警戒区域について、町の地域防災計画の見直しの中で検討したい。
- ・風呂の廃止は、コナミとの契約にも盛り込まれているが、存続のご意見もあったので調査を行っており、結果が出ればお知らせしたい。ご理解いただきたいのは、3施設をどうすれば、もっと喜んで、もっと使っていただけるかの検討を行っており、その中で、風呂の必要性についても併せて検討したい。
- ・近つ飛鳥小学校北東角交差点から北側へ120mほど行くとそこまで雨水管が来て

いるので、その延長を検討している。

- ・西公園の所は、交差点部が暗渠の構造で断面不足が生じている。水路底をコンクリカットして断面を広げ、その経過を見ている。
- ・ネオポリ公園は、水路が鋭角に合流する構造になっており、水が噴きあがる状況。改良の方法を検討中。
- ・優先順位を考えて進めていきたい。ご理解をお願いします。
- ・4丁目の集会所東側の急斜面は、急傾斜危険箇所のランク3（もっとも緩い）に指定されている。民間で人工傾斜のため、国や町が改修工事をやるのは難しいが、今後もできる限り注視したい。なお、水路の継ぎ目の傷みは補修を予定。
- ・大宝5丁目隣接地の住宅地開発。平成14年7月に開発許可があったが、業者は開発時期を見定めたいとして未着手。大雨の際、状況を注視していきたい。
- ・千里ニュータウンは入居50年、今は若い人がなく、ゴーストタウン。ところが最近若い人が戻ってきたというニュース。近隣でも河内長野市が若い世代を呼び込むため、家賃補助を行っているが、民間は家賃を値上げするなどしたたか。大きな家に孫を連れて帰ってくるなど、長い目でみて有効な対策を考えたい。
- ・私から提案したい。大宝でも交通事故がある。通学の安全のためにはバスを走らせるのも一つだが、河南町全体を最高速度30kmにしたいがどうですか。河南町が30kmで有名になれば、みんなゆっくり走りだす。そうすれば高齢者もゆっくり走れる。しかも道が傷まず舗装も10年から15年に延びる。騒音も振動も少なくなる。いいことばかり。是非やらせていただきたい。
- ・集中豪雨対策として雨量計を備えておられるのか。警報が出た際に、今どれだけの雨量か知りたい。この雨量なら側溝は大丈夫、ここからはあふれるなど独自の情報を流せるのではないか。
- ・町内の雨量計はさくら坂、平石、水分の3か所。府の防災ネットにアクセスいただくと、皆様も見えていただける。また、携帯電話で登録いただくと、注意報、警報、土砂災害準備情報などが入ようになる。
- ・グループホームについて反対の要望書に対する返答がまだないが、2丁目に本当にできるのか。
 - ・おりるはずの地方交付税がなかったが、財政はどうなっているのか。
 - ・千早の村会議員は自ら給料カットと人員の削減をやったと聞いたが。
 - ・消防署を分署にしていれば経費は1/3で済む。他の生活にまわせるのでは。
 - ・みんなの安全。消防車も救急車も入れないことがある。道を広げてほしい。
- ・要望書は拝見した。説明が十分でなかったから理解が得られていないと感じているので、住民の会の代表と協議を進めていくよう事業者と話をしている。
- ・救急車が通れないというご発言をいただいたが、道路幅員は5mあり通行可能と思う。また、今までの実績から見ても、グループホームに救急車はそう頻繁に来

るものではない。

- ・24名という分署並の職員で予防も含めて行い、救急車も2台で稼働している。交付税措置があるので、負担は同じぐらいと考える。
- ・交付税の11月の交付時期が国の特例公債法案の関係で、いつになるかわからない。交付税は年4回、4月・6月・9月・11月に1回4億円ちょっとくらい交付される。今のところ資金は不足していないが、年末に向けて不足すれば、貯金の一時活用など、生活にしわ寄せがいかないようにやって行きたい。
- ・議員の報酬は議会で検討されるのが基本。現在、議員が検討されているので、見守っていただきたい。
- ・第四次総計に福祉の記載が少ない。若者に力を入れるのは必要と思うが、比率の高い年寄りへの記載がない。先ほど何かご提案をと一歩後退のような発言があったが、福祉に関する町としての方針・考え方が欠けていないか。
- ・誤解があってはいけないので一言。一緒に考えさせてほしいということで、ご意見を待って、それまで何もしないということを申し上げたのではない。
- ・町長はいいことをしており支持しているが、もう少しやってほしいことがある。
 - ・交通事故は確かに心がけで減る。でも多く見られる4差路の1つを閉じて3差路にするというようなことも考えてほしい。
 - ・電柱地中化はお金をかけてやることはない。条例で電柱設置1本10万円などとすれば、建替えの際地中化せざるをえない。時間をかけてやればよい。
 - ・ミニ開発は住宅街のイメージを壊す。住みたい町にしていくには、建ぺい率も元に戻すとよい。
 - ・高齢化しているが、色々な活動をしている人がおり活かさないともったいない。
 - ・3丁目のがけについて「人工ゆえできない」のなら、誰ができるのか。
- ・先ほどの件は、大宝4丁目の傾斜地のことである。「個人のがけであるので所有者に任せるしかない」という話をした。
- ・消防広域化とは、どのようなことを考えているのか。
- ・富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村による協議会は、大阪消防庁構想のため休止中。
- ・早期に実現をしてほしい。
 - ・ホームステイの復活とは、以前やっていた中学生の海外派遣のことか
- ・そのとおり
- ・早急に復活してほしい。
 - ・ふれあいの湯は、今も60歳以上フリーパスか。
- ・今は、100円いただいている。
- ・町長賞の賞状を出して欲しいと窓口へ行ったら、2週間ほどかかると言われた。役所は競争相手がいないので悠長。スピーディーな仕事をしてほしい

・町長あてに文書を出し、1週間を待っても返事がなかった。職員の意識改革をぜひお願いする。

●・ご指摘はありがたくお受けする。

・答えをほしいと言われ、お答えしないのは悪い。改めたいと思います。

○・ふれあいの湯は生活の一部。10月のチラシのおすすめスポットとしてふれあいの湯が、1年間この金額でやるとある。来年3月で終わりと聞いていたが、来年10月までやると決定しているのか。

●・コナミとの契約で、今年度いっぱい風呂を閉じる。今調査を行い、今後どうするか、施設の使い道や必要なお金などを計算し、これからどうするか考える。

○・フォローもなく、突然風呂をなくすのか。困る人もいる。

●・数年前、議会とも相談して、廃止するという条件で指定管理者を募集し、契約を行ったもので、突然決めたことではないとご理解いただきたい。

○・防災無線において、警報などがでてそれを教えてくれている。

●・防災無線は避難勧告など緊急の時のためのもの。日頃の放送は、確実に流れることを確かめるためにやっているの、ご理解を。